

講演 2 将来の日本のエネルギーの需給と脱原子力

講師 石原 慶一 氏（京都大学大学院エネルギー科学研究科 教授）

講師略歴

昭和56年3月 京都大学工学部金属加工学科卒業

同 58年3月 京都大学大学院工学研究科修士課程修了

同 61年3月 京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了（京都大学工学博士）

同 61年4月 京都大学助手（工学部）

平成 2年8月 京都大学助教授（工学部）

平成14年4月 京都大学エネルギー研究科教授

エネルギー環境のための高機能材料開発、家庭と産業におけるエネルギー効率について研究。京大グローバルCOEにおいてはエネルギーシナリオ研究グループリーダー

講演概要

東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故以来、原子力発電所の存続について多くの議論がなされている。しかし、その多くは原子力発電所の功罪が中心であり、我が国の電力を今後どうするのかということについて客観的な事実に基づく議論があまりなされていないように思われる。本講演では、日本のエネルギー事情の特徴、エネルギー政策の歴史的経緯を踏まえて、再生可能エネルギー導入を最大限考慮した電力受給シナリオを提示しながら、エネルギーセキュリティ、地球温暖化問題、持続可能性、安全性などの多角的な観点から電力需要と供給において我々がとれる道筋について議論する。